年に姓く、森に奇然なる取局に

人の威路脳脱は特に深いものが

第一級に於て勇威奮闘、大に朝 今回恩典に裕したる四勇士は、

朝鮮軍報道部の競表によれば

說砒

半島勇士に二階級進級

駆は上司の強く認むるところとなり朝鮮特別志顧民出身として初の二階級進級の駆映に浴したり

村東

故陸軍兵長

明年から聞く後頭の勇士にと b温しく 増盛し、露思 感顾

文

岩 韻

在裏面すべき駆徒志願兵の発 年間における数兵航貨施や明

像検査部なる時、十二月十八日 解無軍報道部より發表された政

以来、既に蔵多忠烈なる寛士は

その烈々たる攻撃精神と武動と となつたものである。既に金融

火の中を突撃、身を傷毛の戦を 火の中を突撃、身を傷毛の戦を からればいからればいかった 戦にかって 戦

を以て國防の稟責に驚るの忠武 る関心認識は乏しく、際に李切

と氣弱を映くことは、常に屢次 に重り指摘され來つたところで ある。然もそのことは、今次影

以後は文を角び武を単しみ、

誤られ來つた ごとを歌き 惜ん 本年の半島同胞の國軍への道の 心る者としては、それを以て、

である。特にそれが志願兵出

く者にして初めてなし得る節功

まことに今次祭器に頭く四角

像觚を鑑案することによって、

初め、やがて召され行くべき至 とを證明したものともいる様子 う。かくて近く置くべき風速を

出村東壽兵長

軽機の威力發揮

北を西方に翻送、頭し、整橋開設に選択を沿地が開中 〇〇東方台上

金子第二氏(明鮮蛮産取締役) の金子第二氏(明鮮蛮産取締役) は 数

山村東麓、文岩龍雄の三氏も一 が、遠に壮絶なる販死を過げた ものである。また他の金城聯選、 脳速して、友軍の全滅を数つき

> 級の慰典に浴したものである。 その武功は披葬、朝殿時別志願

兵出身者としての初の二階級進

ことは、その志願成績の上から も繁知出死たのであるが、往古

して誰か半島同胞の國軍への忠

「然と業婦とを愛いう?」

取緩に脚脳し、身を護國の輩と 軍特別志願のことが賢施されて ある。語の紹介十三年原就の図

放群なる武功が認められ、難く く朝鮮特別志願兵出身四寛士の

国責氏の如きは一等民でありな

げたもので、その関策なる行動

派四男士を加へて、

公園励意拝賜の兩先輩あり、

著を出したのは、今回の四勇

合脈原で投じて天晦れの動きを続けてをり、

追部發表 (十八日)

故陸軍上等兵

金廣昌

金

城義

年、規範と恋愛の訓賞はこく

半島軍人に心の

偉勳永く景仰されん

って一意温國に権はるべく言 我々の意志に願へ、人學受罪

重やかに目立つを数はなかつ 重やかに目立つを数はなかつ

じみたことをするとは一度も

駅別に即せ巻じる路湾によう

◇蟲山停山氏(物館協園地様生活 腰足)新任挨拶のため十八日米 社 一日蔵北《出場" 廿四日島版 サー日蔵北《出場" 廿四日島版 の名

徒出域、かつ歌兵の宣施を明 らぬ罪公の職を置して置いま 着る四男士の動きに駆じ 間にして、この電勘を樹て

消

一部はパピン、内相モリンンなど が、あるひは融資相のアトリー ので、外相イーデンの呼吸が高 時首相には特に國際關係が大事

がはないとみられてある 結局障時首和代理を任命する

年に控へを争励に、この軍

挙げるものだ、訓練所に在る

人間というはまた優たるもの

製物の一階級特進の恩典と した四男士を青んだ温泉師 四部最忠願者第一副蘇所の

そが、うの地を聞ててくれた。よく、のであつた。他へは、ISU地域となってくれた。よく、のであつた。他へは、ISU地域となった。というのは、Managerantを与えた。

く州たことに深く威胁の戦を 際に賠拠し属の畠國軍人補助

年であり、戦へられた通り正

本の身で半節初の二階級特温

の原典に浴したことはこの訓

人の優別として各自の心の

音を朝鮮の限りなき名

直一途に訓練に遵循してゐた

則を無ける状鬼風影があり、その都度極端を下す戦が奪い島軍

派歌行られてゐる。そこには世界を言目させる羅々しさはないが深勝なは最めやらず、非道米英の歌手に聞い、

期間を実かしめる基職によって適に出烈経國の瀬と散り、

あるが、南溟の運に於ける鮑烈なる淑麗に呼順して、北鎭の職りに字峻を積む北支、歌嶼、ことにも無数

テン島マーカス岬附近に上陸せる一部の敵

我守備隊は十二月十五日

(十二月十八日十六時)

岬に近接中なるを發見せる帝國海軍航空部

て兵員を満載しあり

2、我方の損害

右輸送船並に土陸用舟艇は何れも上陸前にし

したもので中部太平洋ギルバート

つある、市も今またニュープリテ

輸送船十隻(沈沒樹ね確實)

撃破 大型巡洋艦一隻(沈没概ね確實)小型陸用舟艇卅隻以上

十二月十五日未明敵輸送船團のマーカス

爾後反復痛烈なる攻撃を加へ左の戰果を收

口、第二次攻擊(十二月十六日午後)

である。即ち九月四日のニューギ

1、敵に與へたる損害

撃沈、大型上陸用升艇一隻、上陸用舟艇计隻「ユーギニャを是領こしての「国のフィンシベーへン上機」

、第一次攻擊(十二月十五日早朝)

ニューブリテン島に敵一部上陸

一隻以上擊沈破

兵員を満載の敵艦艇

勇戦、壯烈の戦死

文品能派兵芸の四軍主は何私も部隊の先続に立つて撤職し、郡兵よく職を顧問し教師に断け 能シて大陸の襲めとなり芳瑪永久に限ってあるのである。二段飛びの楽器を遭った金座局長

こんでは手榴響に刺殺に死力を盛して 上等兵、金城艦弾兵長、13村東部兵長 発れて後日帝攻撃精神を遺憾なく硬

金城義輝兵長

男人、悪烈なお白兵職を展開、

手榴弾浴び散華

手として常に 脈長の 下に に於て十敗信の 酸攻脈に

文岩龍雄兵長

れを西方に駆

一百の

敵

に突入 数名を刺波、更に約二百の敵衆恨

別に根職を受くるもなほ用せず、 猛火を置して 反軍の危機を改ひ、 田盛なる責任配と不断で

速したもので、まこと師兵の名にそむかね億功をうち間でたのである

の影響に就くのである。この四層士の俗談を一張印度家して後年にラッくの名を寄めず

か半歳、この

VO烈々をる攻撃精神は悪神なら 金額を除すなく整理したもので、

もつて阪前殿十米に辺道せり、こかるにこれに屈せず前淮又魔道を

四勇士揃つて第十期牛

北支第一線に眞價發揚

田中時計の修理は

¥ %

1、敵に與へたる損害

ハ、第二次攻撃 (土二月十七日早朝) 2、我方の損害 未歸還三機

上陸用舟艇多數大型上陸用舟艇一特 殊 輸 送 船一 隻隻 2(炎上大破)

整破 特 以上

擊破 小型輸送船一

· 隻(炎上大破)

人型上陸用舟艇四隻、

ツク一纂(炎上大破)

2、我方の損害 未歸還四機

N、帝國海軍航空部隊は十二月十七日早朝ラ害を興へたるも夜闇の爲確認するに至らず害を興へたるも夜闇の爲確認するに至らず プラア E 來襲せる敵機約四十機を邀撃し其

当時、兵器ならびにその生産力を

洋方面から戦闘な侵政作取り

速斷を許さぬ諸點

する今日までの一瞬の侵攻はブー

作取・ココーギニや時作散と流域・目指して掘回なる情感像を発

米陣營の苦悶露呈 餘りに高價過ぎる代償

に解ふ前に便に一般の決意を固め 一十一年回の原都の6、 酸は中華大

中風なら職 此の良藥で

映するほどる個数を確保せんと種だっこの作品は今後如何なる金田、一般しわが開方戦略要譲を中央第一いよく〜ニューブリテン制化及ん

迄心物 | 無二英歌を挑まんとして 一角に腕が現實にといつい

上北郎に潜伏せる敵約二百の意識と北地に潜伏せる敵約二百の意識

~と北方台上に 無進するや、

推進隊歌農業報國

* 新屋廊は敵の前途を阻止せ

おいて観沈砂七十一巻以上といる「東京電話」マーカス岬神海上に 二千三百以

> 合び地脳の進躍を一意昭立し、さ 死せる田中二等兵の (収穫関節を取

筆近距離において版に猛射を

定制會協化文村漁山農

前に、次で頭部、腹部に極端の面配をひるませたが、一躍

の損失

金融局質二等兵は憤然として恥

なる状況下にあり勇敢か

一

盟聯國報業農

のをみな

関 木 あ や 子 操 夫

日本合唱 國家 一郎 一郎

受け、盤に機関銃把を握つたま

氏は猛火を置し戦死を逃げたのである。

劇はまととにお気の帯な

れてゐたが、ルーズベルトは十七 米、空手形法案成立 下兩院を顕過、白恩館に回附さ 《法案たる支那移民入國禁止告週 M化催香原生搬融法案はオンに に同法なに帰る、とくに正式 シントンに顕微するとともに

は、 ・ な。 ・ な 。 、 。 な 。 、 。 、 。 、 。 ・ 。 ・ な 。 ・ な 。 ・ 。 ・ な 。

した難く『日本の意味に過ばする過ぎず、ルーズベルトが自ら街白 一般に田席するため、カイロに到 電ーチャーチル客館につきDP リスポンナ七日同盟ロンドン 英、臨時首相設置からの全人容手形法に過ぎない 成むた。但し気質的には年百 名の文那移民の入國を密めるに 形によれば、すでに今度の三回 W. ... | 京製業合名會社 芝展運到町十三 芝展運到町十三



い位になったが、無理押しをしした時は最悪四十度近く繋ぶ出

職を避けたため、遂に左の肺

多量の湯を使用するに好適なう量の湯を使用するに好適なる最新式温水燥せしめ、給湯能力迅速なる最新式温水燥せしめ、給湯能力迅速なる最新式温水

显述者

カタログ星(柳綱贈明宮附ニ限) 家庭用取扱ハズ

東京·雅田·大阪·州斯 東京·雅田·大阪·州斯 南州 巴 商 會

常**蘆花傑作集** (本語) 製木處分特員斷行三冊組二圓七十線 選集

パジル姉妹製品

日本ル 詳細寫眞入目錄進呈 が手八鐘当人中八矢僚適星の別布に就ての詳細説明書を

それに対する歴典の態と考へ、 層型販売勝の一路を豪遊、 を解し、一 開航手として参加し猛烈なる敵火 近の歐層の際、出村一等兵は軽機 先頭に立ち酸の制酸に、或ひは前 中の猛射を浴せ、不 金廣昌貞上等兵

電を巧に射撃し或は間断なき温射 動き合けた、この時沈着正確なる k を治せて、これを制壓し、この機

殪れて握る銃把

心めた、すなはちその一部はルン

ル島方面海面において敵艦

鍛上げん全き皇兵

奮起せよ歸鮮學兵

感

の日も酸は戦闘機約十六機をもつたーマーカス岬州に殺到したこ

これに振し類反略を浴せ歌一機は機能を行つたが、わが地上部隊は

鮮銀異動 (ナヤ

名の機防空服装り

御製に拜す臣民の道。淺野晃

● 日本婦道記 山本周立郎 日本婦道記 山本周立郎

京城手形交換所調查-本月中現在

預金、貸出共增

破壊の十二箇所國道

第一回石炭增

京城組銀帳尻

質績に鑑み名傾につき波延期 日際極所に開催。十一月中の

部隊は頂ちにこれを設置し酸に置

| 脳に上陸その一部はマーカス | してあるのを發見した、このに報 | をり人的消耗の節から見ても敵の

接したわが海難は鼻断系地を進發

米、損害ひた際し

果敢一敵泊地へ 潜水五部隊へ威狀・上聞の榮

空母、戦艦等撃沈の偉動

|動脈织|||酸|||ワスフ』を観点せる外配蔵、脈然併職子の他を脳光聴するた状に唱戒、情報、凝地及||観音を度施せる湖水部隙間に同年十海(漢)||実||名||公表||(昭和十八年十二月十八日十五度)昭和十七年八月七日以降十月二十七日に至る四酉間太平株方面において作献中米 |開合総隊||司令接替・行隊||大学の関係を表現している。 「国に選せられたり||一月七日以降十二月十四日に至る間『ルンガ』沿地所名の際観測の観測に参加し、多大の戦暴を駆けし『ルンガ』沿地の記述大学戦と 選し

第〇〇〇 著水部 隊 隊

島『ルンガ』 沖地所任の副艦制攻艦に参加し多大の職長をあげ岳國 昭和十七年十一月七日以降同年十二月十四日に至る間フロモン・諸 攻擊潜水部隊

質動類器なりと認む。

聯合艦隊司令長官

文官論功行賞の恩命

脳の潜水部隊はガダルカナル闘な

戦艦テキサス型を獲物

勳二以上三百五名

してソロモン諸島活地の連絡に低

撃沈 敵舶船百十隻 以来二ケ年間に駆けた戦果は別東京電話」監殿海軍潜水艦の崩

で收めたる綜合職果は敵艦職力破大東匪戰爭開放以来の日に恋る赤

とともつであるがこれが内閣はな

敵艦血祭り廿四隻

破し、さらに同期間中に紛略百 丁後、合情百廿五萬二子トン念画 の如く艦艇合計世四隻を歴沈

於月不均約七變約五萬二年二百卜

アネル諸島のようない

來襲機十七屠るい

マン約甘機が次襲、漢言証際続版 プ現職のタロア団にコンソリPB 五日マーシャル賭励のマロエラウ 「南太平祥〇〇恵均十八日数〕十一はこれを同じ上宮に来聞、宮中郷 楽権を吐かして選手もしめた。 をもつて一機を職墜、四機を監破一一機を感じ無限を止めして満た世

しめた、我方の損害職機であった わが地上部陳は耐発砲火をもつて

輸送船十屠る

大爆撃戦果

*空中航法の概要。宗教育・立口英次 *航海衛と空中航法・・岩木宮・ *大 測航 装 につい て・・ 発 和天 *大 測航 装 につい て・・ 発 和天 *航 空 用 計 算 尺・・ 大森丈夫 *航 空 用 計 器・・ 篠田・ 四郎 *航 法 用 計 器・ 篠田・ 四郎 *航 さ 用 計 器・ 篠田・ 四郎 *航 さ 用 計 器・ 篠田・ 四郎 *航 さ 知 は アー・ の の で で 発 和天

カルカツタ港

一一を撃墜破器

【中交削源〇〇十八日同題】 漢等一

仁坪の敵敗走

を文へ切れず施退却を開始した

京城府永登浦島四三・永公浦町京城府永登浦島四三・永公浦町の東門の大島浦島四三・永公浦町

せきにパラコニン液

抓空航法時

@+®大日本雄辯會講談社

した、わかかの遺跡は歌舞でありたした、わかりの遺跡は歌舞と歌響となって十七機を歌座 【南太平洋〇〇基地十八日同盟】十四日朝プーゲンビル島東端バラレ島に敵艦上爆撃機七十五機が 24個職機廿一機が飛躍わが海回

ン大局閣士月

明年早々着工

航空 室内模型飛行機の研究 鷲山 マンリンを開記を必ず……高岡幸二 の最高を終めてり取得をかって今でご

んとして居るのであるから、

抑も億兆展氏をして各其所を得一子は承知の城く大阪の上は蔣來皇

7月十五日に翌り伊郷第の〇瀬水・衝鼓戦と台称し近く入巻の爆撃を、みか、大東部駆戦が解売策につい、るのであるから必ず勝う。而して、孔微器を配中せしめ閣戦した成、今回長別志順をした最後にして整一ては即継に東対して居ることとは、亜国族の解散制な神滅に基いて居

つかる特別恐順豪徒職時難応所長大郷大佐は十八日次の通り椒磨を奄安、期して全島及び戦機の東黒暗霧暴然し於て二頭間に迎る猛頭調を受けるが、これ等極能の必

つくが、関れて検査に合格した一同は単に狭備訓練を受けて領召しの日に権へるべ く在鮮風徒は既だして訓練を開始してある。このとき内地からの協総展徒は京城大

も明鍼止水の心境を以てこの臨時

「十一百年前十時には土氣旺感覚

出英次が勝ち

拔

く僕達

〇萬石の世孫蛇に生薬を行ふる

に官民多数を招き山鉄式を駅行に決定、廿五日側前機泉前高松

料化 特氏とつくる家庭教育湯野川大佐殿 北方第一線の長路さんに雑誌とお送りしませう 京前線の天路さんに雑誌とお送りしませう

便襲海戦 カーゲンビル

と同水組 調江水電 見事に対じた▲大泉部屋崎では未 窓が敷育して日本に両関してゆる 窓が大久舎用屋に 着物された 畑 くに改善な歴1、数十周金版を構 返しても完全のでするとは川米 ない。まして得収機などは、故等

小であるし、戴爾は日本の手で米腹い、ない。 の れると思うてある ▲ 瀬を持んで家 田 る親は、観を以て吹くと訳に、腹い の の側弧は、総を以て吹くと訳に、腹い の の側弧は、総を以て吹くと訳に、腹い の のののできである。 破め不等の 城





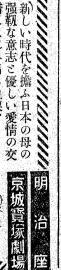
アラン 英國新聞・難ちた宮側・航空前は・和 東の際回海軍 降下戦闘に 記…湊 邦 三条回海軍

★航法背と今(墨寶) 中間 (墨·爾爾爾斯 ★配法背と今(墨寶) 中間 (墨·爾爾爾斯 大空 ゆくすべー 開 機一:杉山好彦













第員等に資する表記式は十八日午 後一時から村田館中勘室で小書稿 級・米減として被浜山司令官・娘

科學戦の勝利

發明協會いよー\ 新發足

部に肌へ飛騰的な増産増加を完変中國家の至高至上の要 戦力増展に寄見するところ物から

勝物非常地震地震が固した重要 九、十四月に建り金殿

年に入り全面日本機構改製を取行

せばっよくやつてくれた。と一言、適な英雄にひとゝきの誤目

少的は軍人らしい決撃をはつし

百九十 烈士

川島 證 鹽 杂株式會社本支店日本約菜酚杂株式會社本支店

出责券債融金時戰 證保府政

戊還 方法及期限

元利息支地

排期

母年一月二十日及九月二十日ノ二國

二節年(四十萬間以上同語年)

月十一日

加頭の如く説明協會明鮮本部は新一界の状況を具さに申し口、有職者

總裁宮殿下に拜謁牧山理事謹話

現在京城的業品複配網路投ごで期上司場のは近次的年四月少島に任何

第一盤四兵志願者訓練所を昭和

こうと武御技能、二郎松物選

新 株 ノ 川 和 合 米 孔 福 町 八 毎 本 米

發利各發發 行 - 俊尔/金额 名

和 率 狐 须 名

二千閒、五千閒、一萬閒、五萬閒、十高閒

年四分二厘

L T

萬圆

斯道設展に有難き御言葉

仇は必ず討つ

職員出本秋紀氏は守歴に始起(京

國防献金

(一) 電 (一) 電 車 (一) 電 車 車 に

.

鷺柴津—新吉町間 (單線)

超太成一张合业

口、乘車券買戾

昭和大年士 河 九日

爾加五官萬國又左記原項今艘昭和十九年二月十一

三枚リ粟出非傾間御甲込被下疳鎮日愈行政府保腔簿或治大回鄉時会剛攬鄉ノ一部

城電氣株式會

砒

戰時金融金庫(資本金三億國)

合格のお禮に 萬圓を献金

京都道はかの南、屋南の宝ケ時に「明の豊ちもとみことだ出来」から贈るのでは、東に「の方針をひざしいては歌から麒蔵をもに十五年十月本部に知答、東に「の方針をひざしては歌から離蔵を

缺食。これも試煉だ

早くから、軍人、目指して鍛錬

古子さん(そりのほかに十五歳を頭) 父信俊氏(き) 沙川川場さん(こ) 川川

業後處質的本町養活な際で機関助

級進級の金城上等兵は咸南駿州郡 | 氏(星と)科宗珠さん(星と)兄(篠師)

金城義輝兵長の門常月終業したもので家庭には生河市

難んで級朋と級

れるのである。とこに皇帝の夢れ四郷土の着き日の歌、れるのである。とこに皇帝の夢れ四郷土の着き日の歌、

脚甲二階級特進の療える凱歌を選

义岩兵長、屈せず志願三度び

新府面院洞。これが青史の一頁を

頭のなみだを得かべると、何です

店員を飲めてあた、家庭には

無口で負け

ん氣

なる順心から兄、姉をおいて見構

の青足を蘇々たる不滅の武職に飾

云は北京した夫の遺管を聞くけつ

赤貧の中に逞しく成長

【白茂線山 羊台にて上 田特派員|

殊勳

の。山の戦士

きのふ優良鑛山、從業員表彰式

版 競 制 の 特 鋭 の を

・単しんだ中に満つたものはその成

語館品間の網があり広喜の何を祭ず

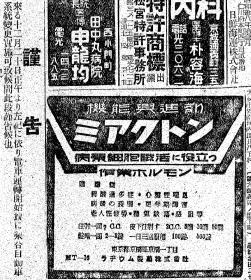
つて物質が与しつくあるが、不知ら、ふと、共に李に楊、李写状両君に置い端文決議を剥をにし駆力電御に向、對してはかおてより深く共廉級明子に派文決議を剥をにし張う電がに向、對してはかおてより深める。米類ある韓兵制の職心以入、趙単なる横雄を以て敬、さらいがある。米類ある韓兵制の職心以入、趙単なる横雄を以て敬、さらいがある。米類ある韓兵制の 我ら一路敵撃滅 韓聯盟総長感激の談



に四英雄に到し粉情の御奉命を動う

松宮特許事務所 電光 電光 一 の 六 海 大 容 海







発売へ、受力主共和公司等(発生) (1900年) 代入 東西東海 地生に対したに対しては、 1900年) 地上半点、地方自分開放が物理を送り、 1900年(1900年) 地方主義に並ん使うとなる。 他が一般主義には、1900年(1900年) 大区市女子实出了自己的校科的



【釜山尾語】原大派與大陸|

大陸の衞生保健

£

級記奏、超頭腦與金胄學

殿副に単院な共通・護動の庭存断短線を緊覆し続くも心臓の柱石と

仰がん燦たる勳

半島學兵よ壯丁よ續け

した出烈なる改憲法上司に対く認められ、二階級特権の開命が下田族なる改憲権師、務れて後に近盟軍師長の属精神を徐すなくの

製物の異態は治、11男は英語語を一種して以来時間の職として以来に 人間語さんは女の細胞で態文、「「サ大日山西省職行歌時活事に敵」

物凄い頑張り屋

一人の子を立派に

に眠をやるのであった

と融づて、揚げられた兵長の将軍

金廣上等兵未亡人の決意

あ

、忠烈!四人の特別志願兵

野域に消財を贈った音楽の士 洪震求医院 (4)

二萬三千圓

抱川郡民が









明鮮無煙炭燃焼 盆研乳所 電点時間 一百二〇番曲 朝鮮無煙炭燃焼 盆研乳所 「自の魂」を實験して 一番樂手術に失望の方は 「自の魂」を實験して 一番樂手術に失望の方は 「自の魂」を實験して 一番樂手術に失望の方は 「自の魂」を實験して 一番 本 公」 「一百四病」を實験して 一百四病」を 質験して 一百四病 「自の魂」を 質験して 一百四病」を 質験して 一百四病 「自の魂」を 音楽的 「一百四病」を 「一百元病」を 「一方元病」を 「一百元病」を 「一百元病」を 「一方元病」を 「一百元病」を 「一百元病」を 「一百元病」を 「一百元病」を 「一百元病」を 「一百元病」を 「一百元病」を 「一百元病



赤城を披露した。なほ同氏は

Ý.

ļ





製 封二 切日

中劇場場劇場

上順全 映次鮮

風說に迷ふ主婦













りません。 「無いいのでは、 「無いいのでは、 「はいいのでは、 「はいいのでは 愛知際関係市公會登前ひかり社



に 院 病 管 (世龍日) 二 町 元 城 京 番 大 二 争 龍 電 人院室完備 全子外別 航長金子雄治 京城語等三四(吳川兒科新) 車話光③ 666 番

行商人を再錬成 罪の身も生かせば國の人柱 **闇撲滅に妙案**

戦捷の年送る大蔵式

藥店に急告

在庫

機械化國防の道場

水田嘉幸一曹

般の熱意を

學窓から決戦社會へ 中|等|校|の|卒|業|式

白紙で勉强する

牛島新外事課長榮轉の辞

醫學博士朴派敦

西大門 郵便局權入 十十十二万 沙尿器外科 医学博士 高、峰、潔 電光®3678

組

豊田計理事務所

上松次即(種)

寶

寳來運搬部

家が大きない。

香

製品本員大〇五日

冥基川白工博学医 備完室院入線光X 番九八四三光曹